

個性あふれる地域づくり

【特色ある地域づくりの総合的な推進】

2005年度は、羽田空港への連絡路に関する調査や関係機関との調整を行うとともに、都市再生緊急整備地域に指定されている川崎殿町・大師河原地域を含む塩浜周辺地区の都市再生事業計画(案)を川崎市が策定しました。また、県央・湘南都市圏において、東海道新幹線新駅の寒川町倉見地区への誘致を進めるとともに、新駅誘致地区を中心とするツインシティの整備について、都市計画決定に向け、まちづくりの事業調査などを平塚市、寒川町と共同で実施したほか、平塚側・寒川側をつなぐ新橋や、ツインシティへの交通アクセスの整備に係る調査検討などを行いました。さらに、水源地域づくりに関しては、上下流住民の交流・連携を目的とした交流事業を展開するとともに、地域資源を活用した交流イベントの開催や交流促進施設の整備に対する支援を実施しました。

2006年度は、引き続き、羽田空港への連絡路の整備に向けた検討や、塩浜周辺地区のまちづくりに向けた取組みを行います。また、ツインシティ整備については、引き続き、まちづくりや新橋についての調査などを進めるとともに、環境共生モデル都市にふさわしい施設などの調査検討を行います。さらに、水源地域づくりに関しては、引き続き交流事業を展開するとともに、地域資源を生かした交流イベントの開催や交流促進施設の整備に対する支援を行います。
(企画部、県土整備部)

【適正で合理的な土地利用の推進】

2005年度は、土地利用などについて、全県にわたる詳細な実態を把握し、都市計画決定・変更などを行うための基礎調査を行いました。また、第6回線引き(区域区分)見直しの基本方針の策定に必要な調査検討や都市計画道路見直しに必要な調査検討を行いました。

2006年度も引き続き、土地利用などの実態を把握する基礎調査を実施します。
(県土整備部)

【都市基盤整備を支えるシステムの充実】

2005年度は、都市基盤整備に伴い発生する建設発生土の適正処理を推進しました。また、神奈川県土砂の適正処理に関する条例に基づき土砂の違法投棄の未然防止及び適正処理を推進しました。さらに、公共事業支援統合情報システム(CALS/EC)の導入による公共事業の効率化に向け実証実験を実施しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行うとともに、電子入札及び電子納品について順次運用を開始していきます。
(県土整備部)

【地域の活力を支える公共交通網の整備】

2005年度は、県央・湘南都市圏の南北方向の交通軸となる相模線の複線化について、段階的な整備に向けた検討などを行いました。また、羽田空港の再拡張・国際化の早期実現に向けた国への働きかけを行うとともに、羽田空港への連絡路に係る関係機関との調整などを行いました。さらに、乗合バス事業の需給調整規制廃止に伴う生活交通の確保に向け、地域協議会における協議結果などを踏まえて実施される生活交通確保対策に対し、必要な支援を行いました。

2006年度は、相模線の複線化について、引き続き検討を行います。また、羽田空港については、空港の国際化が神奈川や首都圏にとってより望ましい形で実現されるよう、引き続き国に対して積極的に働きかけていくとともに、羽田空港への連絡路の整備に向けた検討を行います。また、生活交通の確保に向け、引き続き、同様の取組みを行います。
(企画部、県土整備部)

【多様な交流を支える道路網の整備】

2005年度は、県土構造の骨格となるさがみ縦貫道路など自動車専用道路網の整備促進を図るとともに、インターチェンジに接続する道路の整備を進めました。また、都市や地域内の連絡を強化する幹線道路網の整備や、地域分断・交通ボトルネック*を解消するための橋りょう整備、鉄道との立体交差化を進めました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。
(県土整備部)

【先導的な都市拠点の整備】

2005年度は、東海道新幹線新駅誘致地区を中心とするツインシティの整備について、都市計画決定に向け、まちづくりの事業調査などを平塚市、寒川町と共同で実施したほか、平塚側・寒川側をつなぐ新橋や、ツインシティへの交通アクセスの整備に係る調査検討などを行いました。

2006年度は、ツインシティの整備について、引き続き、まちづくりや新橋についての調査などを進めるとともに、環境共生モデル都市にふさわしい施設などの調査検討を行います。（県土整備部）

【地域の個性を生かした市街地の整備】

2005年度は、自然や個性あふれる地域の特性を生かしたまちづくり、市街地再開発事業及び土地区画整備整理事業など都市基盤の整備を積極的に進めました。中でも、地域の魅力の向上、防災上危険な密集市街地の解消、空洞化の進む中心市街地や産業系市街地の活性化などを図り、安全で安心できる市街地の形成、美しくうらおいのある都市環境の創出を図りました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。（県土整備部）

【豊かで多様な住まいづくり】

2005年度は、住宅に困窮する低額所得者などに対し、低廉な家賃で住宅の供給を図るため、県営住宅の建替えや民間活力を活用した買取方式などにより住宅の供給を行いました。また、昭和40年代に大量に建設された老朽住宅のトータルリモデル事業（全面・個別改善）を実施し、ストックの有効活用を図りました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。（県土整備部）

【快適な生活を支える上・下水道の整備・充実】

2005年度は、安全で良質な水の安定供給を推進するために、老朽化した水道管を取り替えるとともに、大地震の発生に備えて、水道管の耐震化を促進する事業を実施したほか、箱根地区小水源の一部においてクリプトスポリジウム（人の腸内に寄生して下痢を起こす微生物の一種）対策として膜ろ過設備を整備しました。また、相模川、酒匂川流域下水道の整備推進を図るとともに、市町村が実施する公共下水道の整備を支援し、公共用水域の水質の保全を図りました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。（企業庁、県土整備部）

【みどり豊かで美しいまちづくり】

2005年度は、県民のいこいの空間となる都市公園などを様々な手法を活用しながら整備するとともに、新たな利用者ニーズに対応した既設公園の再整備をはじめ、公園施設のユニバーサルデザイン*化、防災機能の強化、新エネルギーの活用などにより公園機能の充実を図り、魅力ある都市公園などを整備しました。また、景観法の施行を踏まえ、県、市町村と連携して検討などを行うとともに、景観条例の制定作業などを行いました。

2006年度も引き続き同様の取組みを行い、魅力ある都市公園を整備するとともに、景観への取組みに対しては、景観条例を制定及び施行し、広域景観づくりの指針策定作業などを行います。（県土整備部）

【自然環境に配慮したまちづくり】

2005年度は、県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱に基づき、環境共生型に誘導する事業に対して支援などを行い、環境と共生する都市づくりの普及啓発を図りました。また、環境と共生する都市づくりをめざし、神奈川カーシェアリング利用促進特区の認定を受け、公務利用することにより、交通需要マネジメントの普及促進を図りました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。（県土整備部）